

ホール系施設を利用する皆様へのお願い

令和2年10月2日

一部改訂 令和2年12月1日

一部改訂 令和3年12月1日

一部改訂 令和4年10月18日

公益財団法人品川文化振興事業団

事業団が管理する施設を利用して、事業を実施する主催者は、いわゆる「3つの密」を避け、手洗い・手指の消毒・マスクの着用などこれまでの新型コロナウイルス感染防止策を継続させてください。

ホール系施設を利用して事業を実施される場合は、さらに以下の内容にご留意の上、施設のご利用をお願いいたします。

*公益財団法人品川文化振興事業団「施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(令和4年10月5日一部改訂)と合わせてご確認ください。

(1)事業の企画にあたっての留意事項・施設管理者との事前調整

○公演の企画にあたって、会場定員を踏まえ、利用者が密にならないようにしてください。密集を回避する方策や密な状況を発生させない工夫として、例えば、以下のような手段の導入をご検討ください。

- ・日時や座席の指定予約による人数調整をすること
- ・大人数での来館を避けること
- ・入退場時間や休憩時間の余裕ある設定をすること
- ・入場待機列の設置・人員の配置を留意すること
- ・入場時のチケット確認(もぎり)を簡略化すること
- ・来場者同士の接触を避けること
- ・事業関係者と来場者の接触を避けること
- ・接触イベントを避けること
- ・演者と来場者の距離を十分に確保するように努力すること
- ・利用終了後の速やかな退館を促すこと

○ガイドラインを踏まえた防止策について、必要となる個々の措置を施設管理者と事前に協議し、役割分担を調整してください。

○施設の利用は、収容定員以内で利用してください。

ただし、「大声あり*」のイベントの場合は、収容定員の半分以下で利用してください。

*「大声あり」のイベントとは、観客等が通常よりも大きな声量で反復・継続的に

声を発することを推奨するイベント又は必要な対策を十分に施さないイベントです。また、演者が大声を出す場合は、演者間および演者と観客の間隔を十分に確保してください。

・客席の最前列席は舞台前から十分な距離をとることとし、2mを確保するように努めてください。

○特に高齢者や持病のある方が多数来場すると見込まれる公演については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。

(2)来場者との関係

○来場前の検温を奨励し、来場を控えていただくケースを事前に周知し、チケットを販売する場合は、発売に先駆けて来場を控えた場合の他日への振替や返金など対応方法をHP等で周知してください。

(3)事業関係者との関係

【事業当日の対策】

(1)周知・広報

○感染予防のため、施設管理者と協力の上、来場者に対し以下について周知してください。

- ・マスクの着用、咳エチケット、手洗い・手指消毒の**励行**
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・下記の症状に該当する場合、利用を控えること
平熱よりも明らかに高い発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐**等の症状**

(2)来場者への対応

○以下のいずれかに該当する場合には、入場しないよう要請してください。

①検温の結果、平熱よりも明らかに高い発熱がある場合

②下記の症状等に該当する場合

- ・咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状
- ・PCR検査で陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- ・過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪問歴及び当該在住者と濃厚接触がある場合 等

○**施設内**はマスク着用とします。未着用来場者には、配布や販売、個別に注意を行うことにより、着用を**促**してください。

○会場の出入口等必要箇所に手指消毒用の消毒液を設置してください。

- 会場内の不特定多数が触れやすい場所を消毒してください。
- 入退場時間や休憩時間は、会場の収容人数や収容率、入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設定するとともに、換気を行ってください。
- 入退場時の密集を回避するため、時間差の入退場や導線の確保、人員の配置等を工夫し、人と人との距離を十分に確保して利用してください。
- 入場時のチケットもぎりは、マスクや手袋等を着用し、来場者が自分で半券を切って箱に入れ、公演主催者がそれを目視で確認するといった方式等もぎりの簡略化の導入も検討してください。
- 休憩時間のトイレは十分な間隔をあけて整列するよう促してください。
- 水分補給以外の飲食は、自粛するよう周知してください。
- 施設内では大声をださないこと、またロビー等での近距離における対面での会話や、滞留を自粛するように促してください。
- 来場者の案内や誘導に際しては、十分な間隔をとり、マスクや手袋等を着用してください。
- パンフレット・チラシ・アンケート等は極力手渡しによる配布は避けてください。
- 現金の取扱いをできるだけ減らし、オンラインでの販売やキャッシュレス決済を検討してください。
- 物販に関わる関係者は、マスクや手袋等を着用してください。
- 不特定多数が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。
- 来場者や事業関係者等、それぞれの立入可能エリアを限定し、来場者が楽屋エリアに立ち入ることを制限してください。
- 入待ち、出待ち、プレゼント、差し入れ、花束の贈呈、記念撮影や面会等、演者と来場者との接触は控えるよう周知してください。
- 事業終了後の速やかな退館についても注意喚起を行ってください。

(3)事業関係者への対応

- 表現形態に応じて、出演者間で最低1mを目安とした十分な間隔をとるなど、可能な限り感染防止に努めてください。
- 感染リスクが高まるような演出(声援を求める、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等)は控えてください。
- 事業関係者のマスクの着用と手指消毒を励行してください。
- 不特定多数がふれる場所の定期的な消毒をしてください。
- 楽屋は密にならないように定員を調整するとともに、換気を励行してください。
- 機材や備品、用具等の取扱者を選定し、不特定多数の共有を制限してください。
- その他、練習・稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるようにはしてください。